

問1 富山県の砺波平野に見られる散村では、かつての地形図と現在のものを比較すると、家々の間を縫うように走っていた細く曲がりくねった道路が、格子状の直線的な道路へと変化している様子が確認できます。このような景観の変化をもたらした主な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)

1. 鉄道網の廃止に伴い、線路跡地を生活道路として再利用したことで、広い直線道路が確保されたため。
2. 減反政策の影響で水田が大幅に減少し、余った土地をバイパス道路などの公共用地に転用したため。
3. 急速な宅地化が進んだことで、かつての農道が廃止され、住宅地を優先した都市計画道路が新設されたため。
4. 農業構造改善事業により、大型の農業機械が利用しやすいよう、耕地整理と併せて道路が再整備されたため。

問2 国際社会における経済協力の歩みについて述べた文として、G20サミットが創設された背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 東京都公立入試 類似)

1. アジア太平洋地域の経済発展を目的として、1990年代に設立されたAPECの機能を補完するため。
2. 東南アジア諸国連合（ASEAN）などの地域協力組織を統合して、世界経済を一元管理するため。
3. 1990年代に発足した世界貿易機関（WTO）が解散し、新しい自由貿易の枠組みを作る必要があったため。
4. 世界経済における新興国の影響力が増大し、先進国のみでは地球規模の経済課題に対応できなくなったため。

問3 愛知県の伊勢湾沿岸では、東西約20kmにわたる大規模な埋立地が造成され、中京工業地帯の中核を担う鉄鋼業が発展しました。この地域で生産される鋼板などの鉄鋼製品について、現在の原料の調達状況と主な供給先を組み合わせた説明として最も適切なものはどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)

1. 輸入した原料を使用し、主に海外へ輸出するための缶詰容器として加工している
2. 国内産の原料を使用し、主に船舶の製造のために供給している
3. 輸入した原料を使用し、主に近隣の自動車産業に向けて供給している
4. 国内産の原料を使用し、主に建築用の建材として全国へ出荷している

問4 岐阜県の南東部は年間を通して降水量が多い多雨地域であり、その自然環境を活かした産業が古くから受け継がれてきました。この地域で、良質な杉などを活用して行われている産業として最も適切なものはどれですか。 (2024年 東京都公立入試 類似)

1. 複雑な海岸線を利用した真珠の養殖
2. 広大な平野を活用した銘柄米の栽培
3. 火山灰の土壌を利用した畑作と畜産
4. 良質な杉などの建材を生産する林業

問5 宮崎県の自然環境と産業の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 東京都公立入試 類似)

1. 県庁所在地の人口が100万人を超えており、九州地方の政治・経済の中核として、主に自動車産業の工場が平野部に集中している。
2. 複雑に入り組んだリアス海岸が北部に広がっており、涼涼な気候を活かしたリンゴの栽培が平野部で盛んに行われている。
3. 北部の山地から南へ流れる河川によって平野が形成されており、温暖な気候を背景に近年はITシステム開発企業なども立地している。
4. 県全体が火山灰の降り積もった広大な台地に覆われており、大規模な機械化による小麦の生産とIT産業の集積が特徴である。

問6 千葉県の沿岸部に形成された京葉工業地域について、その土地形成の背景と産業の特色を説明した文として最も適切なものを選びなさい。 (2024年 東京都公立入試 類似)

1. 古くからの港町を中心に、繊維工業や食料品工業といった軽工業から発展し、現在は化学工業が盛んである。
2. 丘陵地を切り開いたニュータウンに、付加価値の高い電子部品などを製造する先端技術産業が集まった。
3. 東京湾の埋め立て地に、製油所や製鉄所、火力発電所などが一体となった石油コンビナートが建設された。
4. 広大な干拓地を利用して、自動車の組み立て工場を中心とした輸送用機械の製造が発展した。

問7 ユーラシア大陸北部に位置するロシアの産業と自然環境について、東部に2000mを超える山脈があり、北西部には鉄鉱石の鉱山が集中しているという地理的特徴があります。この国において、国内で産出される石炭を用いた火力発電による電力を活用し、自国の原料などから生産されている工業製品として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)

1. 天然ゴム
2. 羊毛工業製品
3. アルミニウム
4. 集積回路（IC）

問8 九州地方南部に位置し、薩摩半島側の沿岸部に石油備蓄基地が立地している県について、その交通環境や都市整備に関する記述として最も適切なものを選択してください。 (2020年 東京都公立入試 類似)

1. 県庁所在地では路面電車の軌道を乏生化する環境整備が行われ、バス路線と都心の結びつきも強い。
2. 2004年に九州新幹線が開通したが、県庁所在地周辺にシラス台地は存在せず、すべて平坦な低地に住宅地が広がっている。
3. 石油備蓄基地のある西側の半島には鉄道が一切通っておらず、主要な交通手段は船舶のみに限られている。
4. 県庁所在地では地下鉄網が発達しており、路面電車はすべて廃止され、バスの利用も極めて少ない。

問9 1999年に制定された地方分権一括法などの国主導による「短期集中型」の改革から、現在は地方公共団体の意向をより反映させる仕組みへと変化しています。地方公共団体が自ら改革案を出し、それに基づいて国が法律改正を検討・実施する、現在行われているこの方式の名称として正しいものを選びなさい。 (2021年 東京都公立入試 類似)

1. 提案募集方式
2. 機関委任事務制度
3. 地方交付税制度
4. 直接請求権

問10 静岡県南東部に位置する伊豆半島の自然環境について、その地形的特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2024年 東京都公立入試 類似)

1. 石灰岩が雨水などで侵食されてできた、カルスト地形と呼ばれる特殊な岩石地帯である。
2. 火山が多く見られる山がちな地形で、海岸線はリアス海岸のように入り組んでいる。
3. 海岸沿いに大規模な砂丘が発達しており、内陸部に向かって緩やかな台地が続いている。
4. 大規模な河川による堆積作用で形成された、広大で平坦な沖積平野が広がっている。

問11 都市部を通る鉄道において、従来の踏切による平面交差から、鉄道を上部に配置して道路と分ける「立体交差」へと作り替えられる事例が多く見られます。このような整備を行う社会的な目的として最も適切なものはどれですか。 (2024年 東京都公立入試 類似)

1. 「開かずの踏切」による交通渋滞を解消し、交通事故の危険性を減らすため
2. 鉄道の走行による振動を地中に逃がし、周辺の建物を保護するため
3. 道路を通る自動車から鉄道車両が見えないようにして、景観を保護するため
4. 地形図上での記号の重なりを解消し、地図の視認性を高めるため

答え合わせ・解説

問1	答え 4 農業構造改善事業により、大型の農業機械が利用しやすいよう、耕地整理と併せて道路が再整備されたため。	砺波平野の散村地域では、農業の生産性を高めるために「農業構造改善事業」が行われました。この事業では、不整形だった田んぼを四角く整える耕地整理とともに、大型のトラクターやコンバインが通行しやすいよう、曲がりくねっていた古い道路が直線状の道路へと作り替えられました。このため、現在の地図では規則正しい格子状の道路網が目立つようになっています。
問2	答え 4 世界経済における新興国の影響力が増大し、先進国のみでは地球規模の経済課題に対応できなくなったため。	1970年代から行われてきたG7（主要国首脳会議）は、日本やアメリカなどの先進国を中心とした枠組みでした。しかし、21世紀に入り新興国の経済成長が著しくなったことで、2008年の世界金融危機のような大きな問題に対処するには、新興国を含めた幅広い協力が不可欠となりました。このことが、G20サミットが「世界経済に関する首脳会議」として定着した大きな理由です。
問3	答え 3 輸入した原料を使用し、主に近隣の自動車産業に向けて供給している	中京工業地帯は愛知県を中心に発達した日本最大の工業地帯です。かつては国内産の原料も使用されていましたが、現在は輸入原料への依存が高まっています。特に愛知県は自動車産業が非常に盛んであるため、沿岸部の製鉄所で作られた鋼板は、自動車の車体などの材料として供給されるという密接な関連（関連工業の集積）があります。
問4	答え 4 良質な杉などの建材を生産する林業	岐阜県の南東部は降水量が多く、樹木の成長に適した気候条件を備えています。このため、古くから杉をはじめとする良質な木材の産地として知られ、林業が盛んに行われてきました。他の選択肢にある「銘柄米」や「火山」などは、今回の岐阜県の特徴とは合致しません。
問5	答え 3 北部の山地から南へ流れる河川によって平野が形成されており、温暖な気候を背景に近年はITシステム開発企業なども立地している。	宮崎県の地形は、北部に山地があり、そこから南へ流れる河川によって中央部に平野が形成されているのが特徴です。産業面では、豊かな自然環境や温暖な気候を背景とした園芸農業に加え、地方への企業進出の流れの中でITシステム開発関連の企業誘致も進んでいます。なお、人口約100万人は県全体の規模であり、県庁所在地の人口は約33万人です。
問6	答え 3 東京湾の埋め立て地に、製油所や製鉄所、火力発電所などが一体となった石油コンビナートが建設された。	京葉工業地域は、高度経済成長期以降に東京湾を大規模に埋め立てて確保された工業用地に、原料の輸入や製品の出荷に便利な臨海型の工場が集積して成立しました。特に、複数の工場が原料やエネルギーを効率よく融通し合う「石油コンビナート」が形成されている点が、この地域の最大の特徴です。愛知県の中京工業地帯（輸送用機械）や、兵庫県などの阪神工業地帯（化学・金属）との違いに注意が必要です。
問7	答え 3 アルミニウム	ロシアは広大な国土に豊富な地下資源を有しています。北西部の鉄鉱石や、国内で採掘される石炭は重要な産業基盤となっています。特にアルミニウムの生産は「電気の缶詰」と呼ばれるほど大量の電力を必要とするため、石炭などを燃料とした火力発電によって得られる安価で安定した電力を利用して、国内での生産が行われています。
問8	答え 1 県庁所在地では路面電車の軌道を芝生化する環境整備が行われ、バス路線と都心の結びつきも強い。	鹿児島県では、ヒートアイランド現象の緩和や景観向上を目的として、路面電車の軌道敷を芝生で緑化する事業が行われています。また、県庁所在地である鹿児島市周辺には火山噴出物が堆積してできたシラス台地が広がり、そこを切り開いて大規模な住宅地が造成されてきました。2004年の九州新幹線の新八代―鹿児島中央間の先行開業以降、交通の利便性が大きく向上しています。
問9	答え 1 提案募集方式	地方分権改革は、1999年の地方分権一括法によって国と地方が「対等・協力」の関係に位置づけられた後、手法が大きく変化しました。以前は国が主導して短期間に大量の法律改正を行う方式でしたが、現在は地方公共団体が自ら知恵を出し、具体的なニーズに基づいて国に制度改正を求める「提案募集方式」が採用されています。これにより、現場の実情に即した改革が継続的に行われるようになりました。
問10	答え 2 火山が多く見られる山がちな地形で、海岸線はリアス海岸のように入り組んでいる。	伊豆半島は、かつて南方の海上にある火山島であったものがプレートの動きによって本州に衝突したという成り立ちがあるため、半島内に複数の火山が存在し、全体として非常に山がちな地形をしています。平地が少なく山地が直接海に迫っているため、海岸線は複雑に入り組んだ形状を示します。
問11	答え 1 「開かずの踏切」による交通渋滞を解消し、交通事故の危険性を減らすため	鉄道と道路が同じ高さで交わる踏切（平面交差）は、列車の運行本数が多い都市部では長時間の遮断が発生し、交通渋滞や救急車両の通行妨げ、さらには無理な横断による事故の原因となります。鉄道を高架化するなどして立体交差にすることで、人や車の流れを止めずに安全かつ円滑な交通を確保することができます。